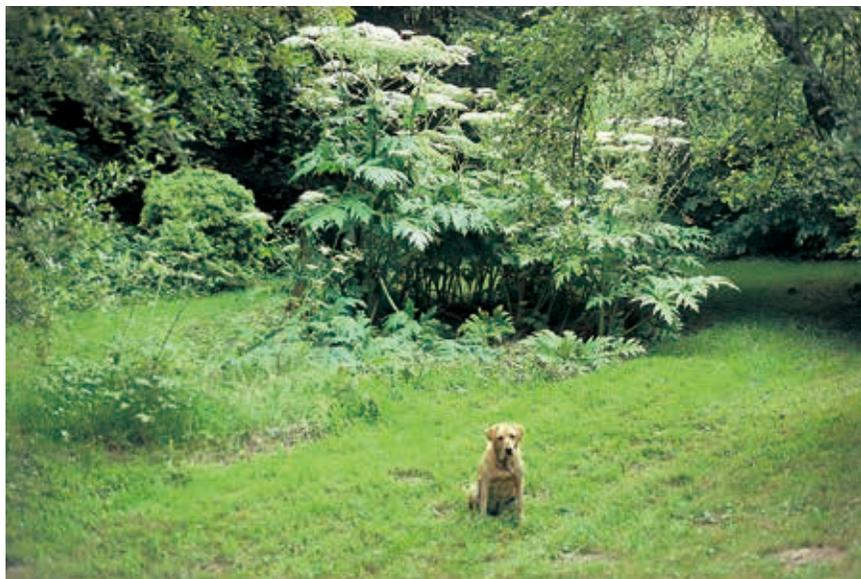
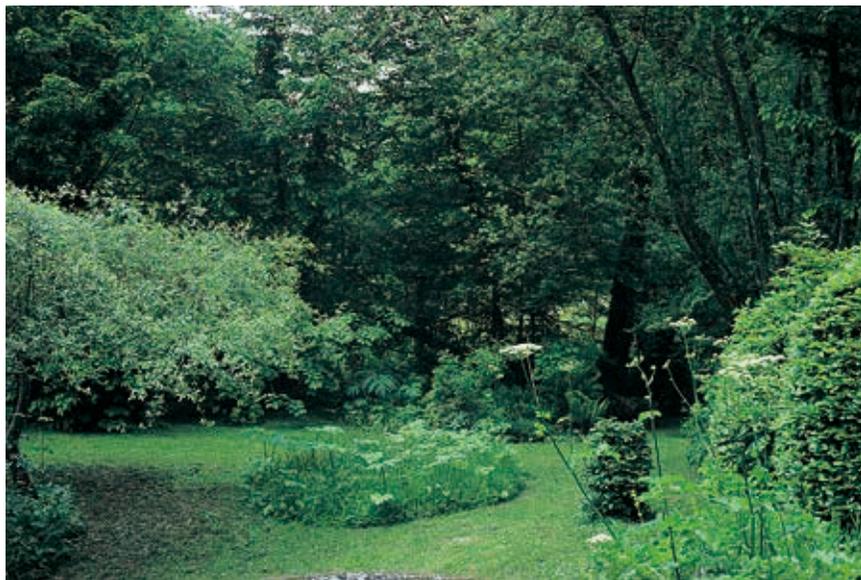


春にヘラクレウム・マンテガジヤヌムが芽生えた場所を探しだす。サリクス・キネレアと球状に刈り込んだクマシデのあいだにあった
芽生えを探し当てたら島を切り離す



一年半後
ヘラクレウム・マンテガジヤヌムは二年草だ。花を咲かせると枯死し、また別の場所に芽生えてくる

丈のある草花のなかのレウム・バルマトゥム
草本の荒地地にいくつか外来種を導入していく



自然に生えてきた植物も生やしておく。
菜園の一面に咲くリクニス・ディオイカ・ルブラ (*Lychnis dioica rubra*)

一年ごと、二年ごと、あるいは多年にわたって放浪するルピナス・アルボレウス。谷の庭にて



二年ごとに放浪するアレチマツヨイグサ (*Oenothera biennis*)
谷の庭にて



一年ごとに放浪するクロタネソウ。1993年、クデールの庭にて



ユーフォルビア・コラロイデス (*Euphorbia coralloides*) とハナビスソウ (*Eschscholzia californica*)

銀の庭 (No.6)
銀色の植物が作りだす川には、木造の河岸と沢渡りがある



金の庭 (No.7)
葉が終わりつつあるノトファグス、さまざまな黄色の植物によるグラウンドカバー、そしてロサ ‘ゴールデン・ウィングス’

赤の庭 (No.5)
誘引されたリンゴ、ブルヌス、クワ、ザイフリボクのある果樹の庭。アルモールの砂岩からなる滝の眺め



赤の庭 (No.5)
ハゴロモグサ、ユーフォルビア。乾燥してくると、ユーフォルビア・ミルシニテス (*E. myrsinites*) は岩の色をまとう